

## 沖縄及び北方問題に関する特別委員会質問要旨

平成 28 年 12 月 12 日  
民進党・新緑風会 藤田幸久

- 1 普天間飛行場の移設に係る総経費の平成 27 年度予算額は「契約ベース」で約 632 億円とされている。その後現在までに「支出済の額」があれば示されたい。また、「契約ベース」についても固まっている金額があれば示されたい。(防衛副大臣)
- 2 5 月 19 日に防衛省が外交防衛委員会に提出した文書によると、多くの項目で当初予定額から「増額となる可能性」があるとの回答があった。「総経費が少なくとも 3,500 億円以上」との政府の説明は、修正する必要があると思われる。現状について国会と国民に説明責任を果たすべきと思うが、現段階で少なくともどのくらいと説明するのか。(防衛副大臣)
- 3 トランプ米国次期大統領は、選挙期間中、在日米軍駐留経費の増額を何度も言及していた。普天間移設の費用に対してさらなる増額を要求するのではないかと懸念するが政府の見解を問う。(防衛副大臣)
- 4 プーチン大統領は北方領土問題の解決を含む平和条約締結の見通しについて、厳しい発言を繰り返している。プーチン大統領のこうした認識をどうみているか。大統領との交渉でどのような成果が期待できるのか。(外務大臣)
- 5 11 月にリマで行われた日露首脳会談後の記者会見で安倍首相は、「平和条約は、簡単な課題ではない。大きな一歩を進めるということはそう簡単ではない」とそれまでとは異なり一気にトーンダウンした。政府は今週の日口会談の成果を今では悲観的に見ているのか。(外務大臣)
- 6 これまでの日露交渉史において積み重ねられてきた合意や共同声明について、これを全て有効なものとして今回のプーチン大統領の訪日に臨むということによいのか。特に、四島の島名を列挙して、領土問題をその帰属に関する問題であると位置付けた「東京宣言」に則った上で今回の会談となるのか。(外務大臣)
- 7 仮に北方領土交渉の解決に向けた道筋すら示せないような場合でも、経済を含むロシアとの協力関係を進めていくのか。このような状況下で日本がロシアと経済協力を進める必要性はどこにあるのか、これがどのような形で我が国の国益につながると考えているのか、ロシアとの協力強化を進めるメリットと併せて説明願いたい。(外務大臣)